

平成29年12月吉日

一般社団法人 青森県作業療法士会 御中

特定非営利活動法人

日本遠隔医療協会
理事長 酒巻 哲夫



平成29年度「遠隔医療従事者研修」開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より当協会の業務に多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また平成26年度より毎年、「遠隔医療従事者研修」にご支援いただきましたこと、深く感謝申し上げます。おかげさまをもちまして、活気溢れる充実した研修を継続して実施しております。

このたび日本遠隔医療協会は例年通り、厚生労働省より平成29年度「遠隔医療従事者研修」事業の実施者に選定されました。(厚生労働省医政発1102第3号)

本研修は、昨年同様に遠隔医療のスキルやチーム活動能力を有する従事者を養成し、遠隔医療推進の一助となることを目的としております。国内の遠隔医療は多方面から期待されつつも、発展が難しいと考えられております。その一因に必要な知識を持つ従事者の不足があります。本研修により状況の改善が進めば幸いです。

本研修は、医師だけでなく、看護師をはじめとする多職種の医療者、介護者、医療行政の従事者の方々にも遠隔医療に必要な知識、技能を3日間で実践的に学べるコンパクトな研修のスタイルを今年も踏襲しております。(詳細につきましては、同封させていただいたご案内もしくは本研修ホームページをご参照ください。)

ご多忙中たいへん恐縮ですが、会員の皆様にご案内いただければ幸甚です。

末筆ながら貴会のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

平成29年度「遠隔医療従事者研修」事業ホームページ

<http://j-telemed-s.jp/seminar2017/>

問い合わせ窓口 secretary01@j-telemed-s.jp

付：

- 1.平成29年度厚生労働省事業遠隔医療従事者研修案内チラシ (A4 サイズ)
- 2.平成29年度厚生労働省事業遠隔医療従事者研修案内資料 (A3 サイズ)

地域包括ケアの時代を迎えて、皆様の身近で遠隔医療の活用が始まります。
テレビ電話を用いた在宅患者への遠隔診療、生体情報のモニタリングによる慢性疾患管理など、
遠隔医療の基本技術の実習、遠隔医療の技術や社会制度について、コンパクトに学べる研修です。
日本の最高の遠隔医療研究者を講師に迎えて、実践的に学習できます。
遠隔医療の教育と研究に長年の実績を持つ日本遠隔医療協会が提供する研修です。

平成30年 **東京(神田)**
2月16日(金) ~ 18日(日)

平成30年 **大阪(心斎橋)**
2月23日(金) ~ 25日(日)



開催概要

- 入門コース
- 政策コース
- 基本手法1コース
- 連携指導・管理コース
- 基本手法2コース
- 慢性疾患管理コース

コース毎に受講できます。修了証を発行します。

対象者および募集人数

- 医療関係者** 医師、看護師、薬剤師、PT/OT/ST、放射線系技師、検査系技師等
- 介護関係者** 管理者、一般
- 病院関係者** 管理者、事務職員、技術職員、関連業者職員
- 行政関係者** 国、都道府県、市町村、独立行政法人、等

東京・大阪各々 **定員60名**

※東京会場・大阪会場の
研修内容は同じです。

**参加費
無料**

(受講料・教材費含む)

**平成29年度
厚生労働省事業**

申込期間

平成29年 **開始** 12月11日 ▶ **終了** 平成30年 1月15日

お申込み・詳細は下記URLをご覧ください

<http://j-telemed-s.jp/seminar2017/>

講師予定者

酒巻 哲夫(高崎市医師会看護専門学校)
長谷川 高志(日本遠隔医療協会)
森田 浩之(岐阜大学)
琴岡 憲彦(佐賀大学)
吉嶺 裕之(井上病院)
鈴木 亮二(東北大学)
佐藤 大介(国立保健医療科学院)
松本 浩樹(前橋工科大学)
郡 隆之(利根中央病院)

ほか

E-mail: telemed-seminar@j-telemed-s.jp

主催: 特定非営利活動法人日本遠隔医療協会

後援: 一般社団法人日本遠隔医療学会